

創立110周年記念式典

11月2日（土）に多くのお客様お迎えし、創立110周年記念式典及び記念発表を行いました。

9：00 受付



中学部の生徒による案内の様子



コモンホールでの作品展示

来校してくださったお客様に感謝の気持ちをお伝えしようと、中学部1、2年生が玄関や昇降口で案内係を務め、小学部6年生は式場入り口に立って元気に挨拶をしてお客様をお迎えしました。

コモンホールには、幼児児童生徒の絵画や製作物、小学部6年生が総合的な学習の時間に作成した「本校の歴史年表」などを展示しました。

10：00 記念式典



校長式辞



実行委員会挨拶



幼児児童生徒代表挨拶

記念式典の幼児児童生徒代表挨拶では、生徒会長が「これからも、友達や先生方と協力して本校の歴史を次の時代へつなぎ、新たな歴史を築いていきます。」と力強く、堂々と語りました。

11:05 記念発表



幼稚部 表現「パプリカ」



小学部 和太鼓演奏「悠久太鼓」



中学部 表現「よさこいソーラン」

記念発表では、本校の子ども達が元気に主体的に学習活動に取り組んだ成果やその姿をお客様に見ていただこうと、各学部で表現や和太鼓演奏の発表を行いました。進行は中学部3年生と小学部6年生が行い、子ども達の一生懸命な姿に、お客様方からたくさんの拍手をいただきました。

また、110周年を迎えるにあたり、小学部5・6年生と中学部生が、総合的な学習の時間に学校の歴史について調べ学習を行い、掲示や各学部の記念発表の合い間にスライド上映をして発表しました。卒業生へのインタビューや在校生・職員へのアンケート等を通して、昔と今の学校生活を比較し、学習環境や学校行事、コミュニケーション方法の違いに気付いたり、幼稚部から中学部までであることで幅広い年齢の友達と関わりながら学ぶことができる本校の良さを再確認したりすることができました。

13:15 記念行事（観劇）



福岡ろう劇団はかた「ブンナよ、木からおりてこい」

午後は、本校の子ども達と保護者を対象に、福岡ろう劇団はかたをお招きして演劇観賞をしました。演目は「ブンナよ、木からおりてこい」です。「ブンナ」という若いカエルが、自分の知らない世界に憧れ、年老いたカエルに教えられ、高い高い木を上って未知の世界を知ろうとするストーリーです。

迫力のある演技と、アフリカの楽器を使った池の水音や生き物たちの鳴き声など自然の森の中にいるような音を楽しみ、劇が終わった後は、たくさんの子ども達が積極的に手を挙げて「たくさんの鳥や動物が出てきて面白かったです。」「命の大切さを学びました。」と感想を述べました。